



宮崎の子ども会

◎発行者：一般社団法人 宮崎県子ども会育成連絡協議会

◎発刊：昭和 53 年 2 月

〒889-2151 宮崎市大字熊野 1443-12 (宮崎県スポーツ会館 2F)

電話 0985-65-5113 FAX 0985-65-6007

E-mail:miyazakikenkoren@tulip.ocn.ne.jp URL http://www.kodomo-kai.or.jp/miyazaki/

第 51 回 宮崎県子ども会育成大会 (延岡・日向ブロック)

来賓あいさつ



開会のことば
中村省吾副会長



令和 7 年 11 月 9 日 (日) カルチャープラザ のべおか



渡辺智裕 様



中村敏彦 様



三浦久知 様

受賞者：(日向市) 横山 雅隆 様 山本 幸彦 様 (山田町) 中島 景子 様 (西都市) 岩崎 志乃 様

昭和 47 年 12 月 16 日宮崎県子ども会連絡協議会を立ち上げ、昭和 49 年 3 月に第 1 回子ども会育成研修集会在開催されました。それから 52 年変わりゆく社会情勢の中、子どもの健やかな成長を願い社会教育の一端を担ってきました。「子どもは地域の宝、地域みんなで子どもを育てましょう」との呼びかけで地域コミュニティの中核として様々な取り組みがなされ、子どもたちが集うことで遊びが生まれ人との関わりを体験し「生きる力」を培ってきました。しかし、21 世紀になり子どもの遊びが商品化され、個々の遊びが主流となり人との関わりが激減してきました。そのような時代変化の中、私たちは子どもたちの体験を支援する団体として手を取り合いながら支え合いながら活動を続けてまいりました。51 回目となりました今年の育成大会は、「描こう未来の子ども会活動」を大会テーマとして、子ども会が持つ潜在的効果を基にこれからの子ども会の在り方について考える機会となることを願うものでした。開会行事に続き永年の取り組みに対して 4 名の方に表彰状とご支援いただいているご家族に感謝状が贈られました。講演では、上野正貴さんに「みんなが仲良くなれば治安も世の中を自然と良くなる」と題してご講演をいただきました。人としてあるべき姿がより良い社会をつくっていく基になります。今後ともご支援をお願い申し上げます。

アトラクション：伊形花笠踊り



司会進行は
県シニア・リーダー 橋口優陽さん 水永文子さん



第 51 回 宮崎県子ども会育成大会 (延岡・日向ブロック大会)

主催 一般社団法人 宮崎県子ども会育成連絡協議会

主管 延岡・日向ブロック子ども会育成連絡協議会

第 56 回 九州地区子ども会育成研究大会
第 58 回 全国子ども会中央会議・研究大会(熊本市)



大会テーマ

【子ども会に社会の力を結集しよう！】
～子ども会活動活性化の具体策と行動～

令和 7 年 1 月 15 日(土)～16 日(日) 熊本県熊本市熊本城ホールシビックホール

開会式は、文科省、内閣府をはじめ、「子どもの体験活動を支援する議員連盟」の地元国会議員の皆様、熊本県知事、熊本県議会議員長、熊本県教育行政の皆様のご臨席を賜り盛大に行われました。



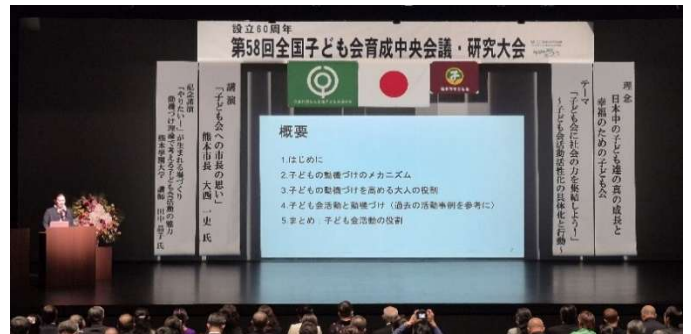
開会式に引き続き、熊本市大西市長から「子ども会への市民の思い」をご講演頂きました。地域活性化の中核として期待がこもった講演でした。

【永年の功績に対して九子連表彰贈呈】

(日向市) (宮崎市) (西都市) (西都市)
 横山雅隆 様 井上雅俊 様 銀鏡六男 様 吉野弘人 様



受賞おめでとうございます。これまでのご尽力に敬意を表するとともにさらなるご活躍をご期待申し上げます。



記念講演では、熊本学園大学の田中晶子先生による「やりたい！が生まれる場づくり: 動機づけ理論で考える子ども会活動の魅力」と題して記念講演が行われました。

二日目は、8 分科会に分かれ、各分科会のテーマについて協議がなされました。今回は、全国中央会議・研究大会との同時開催でしたので、今、全子連で取り組んでいる「体験の推進」「社会教育人材育成」で、地域全体で取り組んでいかなければならないテーマを分科会のテーマとして協議されました。各分科会では、子ども会活動を客観的にとらえ、子ども会活動の可能性を明確にしたうえで、指導の在り方、必要なスキルを身につけるための体制作りについて熱心な協議がなされました。

2025 全国子ども会ジュニア・リーダー研修会



今大会のテーマは
目指せ！笑顔をつくる地域のリーダーへ

令和7年10月11日(土)～10月13日(月) 川崎市青少年の家

今回の研修会には、全国から60名の高校生が参加、本県参加者の引率は、県シニア・リーダーの橋口優陽さんをお願いしました。研修のメインは、2日目の川崎市内の児童館での子どもたち相手の実践活動でした。大会後のレポートを見てみると、全子連美田会長の講話で「日本中の子ども達の真の成長と幸福のための子ども会の実現を目指そう」と呼びかけられ活動の目標を意識できたようです。その後、初対面の川崎市の児童館での子どもたちとの交流イベントのプログラム作成に不安を感じたようですが、そこは、さすが各地で実践を経験しているリーダー諸氏それぞれのスキルを持ち寄り計画を立てたようです。そして、いざ実践！計画通りにいかないのが子ども会活動、今回ももれなく現地での変更が必要となったようです。そこでも美田会長から助言があった「失敗することは次に生かせるチャンスです。失敗を恐れず、何事にも積極的にトライしよう」を心に、新しいことへチャレンジできたようです。(県大会・九州大会・全国大会のレポート集を希望される方は県子連へ連絡ください)

県内各地の活動紹介

【遊び三昧】宮崎市子連と県ジュニア・リーダークラブ合同開催

開催日：令和7年11月23日(日) 会場：宮崎市中央公園(文化の森)

ねらい：健全育成、体力向上、親睦・融和、ジュニア・リーダー実践研修

活動の様子：宮崎市子連で毎年勤労感謝の日を開催しているレクリエーション交流会に、ジュニア・リーダークラブの実践研修として参加しました。市民が集う公園で行われることで、子ども連れの保護者に見てもらう機会としても有意義な活動となっています。「子ども会は楽しい」が、県内各地に広がることをジュニア・リーダーも目指しています。



【宮崎市子連 クリスマス交流会】ジュニア・リーダークラブ「おひさま」主催

開催日：令和 7 年 12 月 20 日（土） 会場：宮崎市中央公民館

ねらい：ジュニア・リーダー養成講座実践、単位子ども会活動の活性化。

活動の様子：ジュニア・リーダーが自主的に活動するクラブ「おひさま」では、毎年 12 月にクリスマス会を開催しています。当日は午前中から会場づくりに取り組み、プログラムの企画、受付、司会進行など、イベント運営のすべてをジュニア・リーダーが主体となって行っています。

参加する子どもたちには、未就学児を含む低学年の児童も多くいます。ジュニア・リーダーは、誰もが楽しめるようにゲームの説明を分かりやすく工夫したり、講座で学んだレクリエーションをクリスマス向けにアレンジしたり、会場装飾で雰囲気づくりを行うなど、様々なアイデアを活かして運営に取り組んでいます。クリスマス会の後半にはサンタクロースが登場し、参加児童へプレゼント（お菓子）を手渡します。これらのプレゼントは、「おひさま」が年間を通して実施している出張子ども会の経費を活用して準備しています。ジュニア・リーダーたちは、このような実践的な活動を通して自信を深め、さらなる成長を目指して意欲的に取り組んでいます。



宮崎県シニア・リーダークラブの紹介

ジュニア・リーダーが、楽しい子ども会活動の要として活躍してくれていますが、そのジュニア・リーダーの先輩リーダーがシニア・リーダーです。ジュニア・リーダーで培ったスキルを子ども会のために活かしたい、活かしてもらいたいと、令和 5 年度に宮崎県シニア・リーダークラブとして組織しました。これまで、一部の市町村で主にジュニア・リーダーの指導を担当してきていましたが、ほとんどは高校卒業と同時に活動が途絶えてしまっていました。そこで、県子連で登録しておいて市町村からの要請に対応できるようにしました。ジュニア・リーダー活動にあった「出前」のシニア・リーダー版です。これにより、指導者の確保に苦労されていた市町村へのサポートができるようになりました。また、安全啓発活動の中級指導者の認定も獲得し、ジュニア・リーダーのみならず育成者指導者への安全指導も行っています。ぜひ、ご活用頂きたいと思います。令和 7 年度のサポートの様子をご紹介します。

